

ヨーグルト工場での氷蓄熱システムの導入

この工場では、ヨーグルト製造ラインの増設に伴い、工場空調と加熱殺菌後の冷却工程等に、ハーベストタイプの「氷蓄熱式冷水システム」を採用しました。

昼間の空調や製造に必要な冷却負荷は、冷凍機の夜間運転でその殆どを賄うことにより、蓄熱調整契約への加入による料金割引と、昼間の冷凍機運転がないため、契約電力の上昇を抑制することができ、大幅な電力コストの低減を可能にしました。

改善効果

- 蓄熱調整契約割引額
約900万円／年(既設分含む)
- 契約電力抑制額
約500万円／年(見込み)

設備概要

(増設分)

- 冷凍機:75kW×4台
- 氷蓄熱槽:145m³

